

第 81 年度中央コミュニケーションスクール

全国の組合員が会社間の垣根を越えて交流を深める

7 月 1 日～2 日の 2 日間、ホテルマリナーズコート東京（海員福祉研修会館）で第 81 年度中央コミュニケーションスクールを開催した。このスクールは、全国の組合員同士の交流を深め、組合の歴史や現状と課題を学ぶことを目的として開催している。

今回の中央コミュニケーションスクールには、全国各地から 23 人の組合員が参加し、2 日間の研修や経験交流会、株式会社シーライン東京が運航する「シンフォニークラシカ」での「海からみる東京港見学会」を通じて、組合員同士が会社間の垣根を越えて交流を深めた。

初日は午前 9 時 30 分から開講式が開催された。禾野洸太執行部員の司会で始まり、齋藤洋中央執行委員から主催者代表あいさつが述べられた後、参加者全員が一人ずつ自己紹介を行った。

最初の講義は初対面の参加者の緊張をほぐす恒例の「アイスブレイク」。簡単なゲームに参加者は肩の力が抜け、和やかな雰囲気包まれた。

続いて、高宮成昭総務部長が講師として「組合員について」をテーマに、組合員であることのメリットや共済給付制度、福利厚生として全日本海員福祉センター（JSS）の各種研修事業補助などが受けられることの説明と、執行部員の業務紹介を行い、質疑応答で理解を深めた。

初日の午後の講義は、木内充総務局長付シニアアドバイザーによる「コミュニケーションゲーム」を実施した。チーム内における情報共有力の向上を目指し、指示を出し、相手の意図をくみ取るなど、仕事をする上で重要なコミュニケーション能力について、このゲームを通じて体験した。

初日最後の講義は「近年の労働情勢および労働組合法について」と題し▽労働組合とは▽知っておきたい法知識▽近年の労働情勢や、休憩時間と有給休暇、割増手当など船員法の特徴に加え、労働三権や不当労働行為などについて学んだ。

夕刻からは経験交流会としてお台場へ移動し、BBQを楽しみながら、参加者同士が船内生活や仕事などについて経験談を語り交流を深めた。

2 日目の午前中は、日の出桟橋へ移動し、ここでは株式会社シーライン東京が運航する「シンフォニークラシカ」に乗船しフィールドワーク「海からみる東京港見学会」を行った。日の出桟橋から出航し、レインボーブリッジ、品川埠頭、大井埠頭を回り、会社と船長のご厚意で、航行中のブリッジ見学を実施し、普段とは違う船内環境や航路についての話で盛り上がった。

「海員だより」